

Question?

令和3年3月18日
西内小学校 6学年
学級通信 No.44

ご卒業おめでとうございます!

愛緒さん、由奈さん、将志さん、光洋さん、さくらさん、祐輔さん、未桜さん、桜花さん、来翔さん、翔生さん、和紀さん、ご卒業 おめでとうございます!

今日、お家の方と一緒に使った食堂は、12日の奉仕作業で皆さんがピカピカに磨いてくれました。作業前の1週間、「食堂で食べたい」と言って6年生だけで使わせてもらいました。そこで気がつきましたが、食堂で食べるのは実に1年3ヶ月ぶりのことだったのですね。コロナ禍の年と最高学年とが重なる巡り合わせて、皆さんは「今まで通り」が通用しない難しさに向き合うことになりました。特に金管の東海大会の舞台がなくなったことは本当につらかったし、悔しかった。行事や集会、日常生活にいたるまですべて感染対策と隣り合わせて、窮屈に感じることもたくさんあったでしょう。「こんなはずじゃなかったのに」ということの連続だった・・・そんな風に思いかえす1年だったかもしれません。

でもね、そんな時に思い返してほしい時間があります。それは、先週の小学校生活最後の算数の時間です。やったのは教科書会社からの挑戦状ではないかと思うような文章題のページでした。一人一人の「解きたい!」エネルギーが教室にあふれて、使える手段はすべて使っていました。黙々とノートに計算を続けたり、先生に声をかけたり、友達に確認したり教えてもらったり、にぎやかなのに集中もしている、苦しみと楽しさが混在している、そんな時間でした。あの1時間に、皆さんの成長、ついた力がすべて出ていたなあと思います。

こんな大変な年に、皆さんは西内小学校の大切な伝統を守り抜いたのです。心をこめて用意、進行してくれたなかよし班、大舞台がなくなってもコツコツと練習を重ね、後輩を育てた金管バンド、たくさんの準備作業をすべてこなした登り窯、みんなで進めた児童会、3学期から取り組んだ愛の言葉。5年生への引き継ぎで「考えることを大切にしてほしい」と伝えた人がいました。今まで通りにいかない中で「目的は何か」絞って考える習慣がついてきたから、こんなことを言えたのでしょう。

皆さんが制服を着てバスに乗る姿を想像することが今の私にはとても楽しみです。来年もこの西内小学校にいますから、すれ違うこともあるかもしれませんが、西内小学校が150周年という大きな節目を迎えるのは4年後です。そのときには一緒にお祝いしましょう。

(宮澤 裕子)

あなたに贈るこの1枚